

Action		Plan	
学校・園の現状・実態		めざす学校像・子ども像・教員像	
<p>○ 教科の学力(4～6年生)については、全国及び福岡市の平均と同程度～やや上回っている。(全国学力・学習状況調査や福岡市生活習慣・学習等定着度調査の結果から)</p> <p>○ 人間関係づくりを苦手とする児童が比較的多い。</p> <p>○ 学校が家庭・地域の教育力を生かせるようになってきている。</p>		<p>○ 豊かな社会力と創造性を育み、子ども・家庭・地域に信頼される学校</p> <p>○ 気持ちの良いあいさつ、「はい」と返事のできる子ども</p> <p>○ 子どもの良さを認め、持ち味をのばし育てる教職員</p>	
		重点目標	指標(取組指標・成果指標)
		本校テーマ研究を通じた授業力改善に取り組む	○交流活動を取り入れ、授業改善3つのポイントを押さえた授業づくりと実践を全教員で行う。
			○全教員授業研究を実施する。
課題	今後の改善方策	「あいさつ」「返事」の徹底とQ-Uテストの効果的な活用	○ 授業改善について職員評価の「達成」「ほぼ達成」90%
学力向上	○ 全ての教科で交流活動を工夫することで自分の考えを広げたり深めたりして学力の向上を図る。		○ 学習規律「美和台小学習のルール」の共通理解・共通実践に取り組む 100%
学級満足度の向上	○ あいさつや返事を通してコミュニケーション能力を高める。 ○ Q-Uアンケートの効果的な活用、不登校児童への支援といじめゼロへの取組を強化する。	家庭・地域の教育力を活用した「共育」の推進	○ あいさつや返事についての職員評価「達成」「ほぼ達成」90%
			○ あいさつや返事についての保護者・地域アンケート「達成」「ほぼ達成」80%
学校・家庭・地域との「共育」の推進	○ 地域人材活用 ○ アントレプレナーシップ教育の推進		○Q-Uアンケートを全学年で実施し、要支援生徒の把握と教員全員による研修会を実施する。 ○Q-Uアンケートについて講師を招き、小中全教員による合同研修会を行い、研修を深めるとともに、情報交換及び情報共有を行い、共通実践について協議する。
			○ 各学年への地域GT活用100%
			○ 家庭学習をしてくる子ども90%、忘れ物をしない子ども80%